1 事業者の氏名等

 事業者の氏名
 医療法人社団明芳会

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)
 理事長中村哲也

 事業者番号A0715

2 報告する事業所等の全体の状況(2019年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数		所油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	0 事業	所油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	10,975	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所

評 価 対 象 事 業 所 ■ 義務提出事業所		全事業所
-------------------------	--	------

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

					2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合言	計二i	酸化炭	素排出	出量	9,885.00	10,180.00	9,149.00	10,926.00	10,975.00	t
合	計	延床	面	積	82,822.40	82,822.40	82,822.40	98,176.24	98,176.24	m²
合	計	原	単	位	119.35176	122.91360	110.46528	111.28965	111.78875	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	-2.64	%
平均合計原単位改善率	1.62	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

	1 7 1	7 11		1 / 1	٠.		<u> </u>
再利	生 可 用		ェネ 業		数数	0	事業所
再利	生可用		ェネ 業				%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	優良	ランク
---------------------	----	-----

1 事業所等の概要

	3 /IC/		,, 1																				
事	業所	デ 等	の名	称	板棉	喬中:	央総	合组	病院	B∼	G												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	1									
					Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	† .	町	村	名	東京都樹	反橋区			
事	業所	等の	所 在	地	町夕以	名 番	i 地 下	小豆		-19-1													
事	業所等	等の	延床面	〕 積		20	,431	.11	m^2	事	業 所 ネ <i>バ</i>	「等 レギ	の :	実 · 使	績	年 用	度期	の間	■ 1年	度分] 14	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	所	有] 他	1者月	뒦						_					
報	告	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	テナ	ン	F)			〕建物の	の一音	阝(そ	の他	<u>扣</u>)
和	生統田	a on a	こたる用	1.沦		事務	骄					商業	纟施言	没(物	販)			〕商業加	施設(飲食	£)	
丰以	口型四	コマノエ	ニルタオ	7.胚		工場	<u>=</u>					複合	施	設					■その個	乜			
に	おける	5 細 3	둩業分 分類番	号号	8	3	1	1			/事業	美区 2	分] j	直営	店		□ 加盟	显店		■ 非	丰該当
再の	生可育	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		低炭	素電	11000000000000000000000000000000000000	Ø₹	受入	,		□証書の利	書による 引用	る環境	竟価	値
前か		の 報 の 変	设 告 内 区 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1,452	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2,823	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 42	t
	総計(④=②+③)	⁴ 2,865	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 138.1	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	你 数 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	163,257.4	45.00	7,346.6	0.014	366.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	3,359,728.0	9.97	33,496.5	0.489	1,642.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,664,722.0	9.28	15,448.6	0.489	814.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2} kW			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						⁽⁴⁾ 56,291.7		⁽¹⁵⁾ 2,823.3	
その	水道及び工業	用水道		m^3	62,051.0			0.251	15.6
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	62,051.0			0.439	27.2
	-	合 計	·						⁽¹⁶⁾ 42.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □	並 4- 別 の 畝 1生			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和工	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
(尺)	ガ 仏 优 の 允 旌			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C417	不使用室の空調停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C421	過度な換気風量の適正化	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
	運用対策			C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	过 佣 休 寸 刈 束			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
	III. 324 1			E112	空調用高効率冷凍機の採用
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

昨年に引き続き、医療行為に影響のない範囲で消灯の他 LED化を進めている。白熱電灯はほぼ取替が完了し 直管型の蛍光灯については、1日15時間以上点灯している系統を優先的に更新中。現在は全体の69%の交換を完了している。CO2の排出削減として、前年の1%削減を目標としている。

1	事業所	笙の	押
1	尹未川	マディンフ	似女

事	業所	等	の名	称	板村	喬中:	央総	合約	病院	iΑ								
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	2				
	VII				₹	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市田	丁扌	村。	名 東京都板橋区
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	i 地 下	小豆	〔沢2-	-12-7	7							
事	業所等	声の気	正床面	ī 積		4	,461	.00	m^2		業 所 ネ ル				責 年 [用			D ■ 1年度分 □ 1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	自] 他	者所	有						
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナン	ント)			□ 建物の一部(その他)
共口	告範囲	σ	たフロ	コンク		事務	歽					商業	纟施言	没(集	勿販)		□ 商業施設(飲食)
羊区	古軋世	の土	ハニのカ	力述		工場	<u>=</u>					複合	施	没				■ その他
に	本 標 おける	細り	う類 番	号	8	3	1	1	連	鎖化	/事業	美区 2	分		直	営月	吉	□ 加盟店 ■ 非該当
再の	生可育	ピエン 用	ネルキ 状	ž 況				エネ の設	ルギ 世	_		低炭	素電	建力の しょうしん かいしょう かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん	の受力	人		□ 証書による環境価値 の利用
前 か	年度らの			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 150	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	292	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 5	t
	総計(④=②+③)	4 297	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 65.4	$kg-CO_2/m^2$

	<u>一段 10 次条 36</u> 燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	4,020.3	45.00	180.9	0.014	9.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	392,702.0	9.97	3,915.2	0.489	192.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	186,137.0	9.28	1,727.4	0.489	91.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 5,823.5		¹⁵ 292.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,454.0	/		0.251	2.1
他	公共下水道			m^3	8,454.0	/		0.439	3.7
	_	合 計							5.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
♦ □ ♦	織体制の整備			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和上方	戦性制の登加			A207	排出状況の整理・分析・提供
	4 1 H A	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
1,	13 17 12 12 12 12			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C417	不使用室の空調停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C421	過度な換気風量の適正化	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
	運用対策			C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エ					
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設 佣 体 寸 刈 來			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E112	空調用高効率冷凍機の採用
	以用等八刈水			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

昨年と同様に旧式の壁掛けエアコン等を順次効率の良いものに更新し、建替えを視野に入れた対策を継続実施中。医療行為に支障のない範囲で消灯対応してきたが、数年前より順次LED化を出来るところから進めている。目標としては、前年に対して1%のCO2排出削減を目指している。

1	事業所	笙の	押
1	尹未川	マディンフ	似女

事	業所	等	の名	称	高剧	島平	中央	・総合	合病	院													
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	3									
					₹	1	7	5	_	0	0	8	2	区	市	町	村	名	東京都板橋	Í区			
事	業所	等の	所 在	地	町夕以	名番	地下	同压	₹1-		3												
事	業所等	等の タ	延床面	重積		11	,646	.37	m^2	事		「等 レギ	の :					の間	■ 1年度	分		1年未	:満
所	有	•	形	態		自己	引所不	有		〕他	1者原	所有											
報	告	1	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	邪(ラ	テナ	ン	(-)			〕建物の−	一部	(その)他)	
却	告範囲	i o i	ナカス目	日之		事務	所					商業	纟施言	没(/	物	坂)			〕商業施調	没(食	饮食)		
干以					Ш	工場	크 7					複合	施	設					●その他				
	本 標 おける	5 細 2	分類種	争号	8	3	1	1	連	鎖化	(事業	業区2	分] [直営	店		□ 加盟區	吉		非該	当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ :置	_		低炭	素電	重力(のき	受入			□ 証書に の利用		環境	価値	
前 か	年度らる	の 報 の <i>薬</i>		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 815	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2,581	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 23	t
	総計(④=②+③)	^④ 1,604	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 135.7	$kg-CO_2/m^2$

	,	田玉 (1・>-1 11)	推計			15. 半1.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の ##	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (ii)=(8)×(9)×44/12
.14\1.	都市ガス			Nm^3	124,512.9	45.00	5,603.1	0.014	279.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()	その他()			0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,856,100.0	9.97	18,505.3	0.489	907.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	806,348.0	9.28	7,482.9	0.489	394.3
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 31,591.3		1,581.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	33,506.0			0.251	8.4
他	公共下水道			m^3	33,506.0	/		0.439	14.7
	-	合 計	·	`					¹⁶ 23.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ п ⟨	がみまる軟件			A203	具体的な取組目標と内容の設定
租前	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の	2100		B105	エネルギー使用量の前年度比較
(使)	用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C417	不使用室の空調停止	C402	利用状況に応じた空調の設定変更
		C421	過度な換気風量の適正化	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
	運 用 対 策			C409	季節に応じた温度設定の見直し
省エネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
來	以 佣 水 竹 刈 水			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	31. / 二、			E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

2014年12月1日に移転完了。基本対策を徹底し、データの分析と共に新規の機器等の省エネ運転を検討する。節電対策として、医療行為に影響のない範囲で消灯・LED化を行っている。CO2の排出量削減目標として前年に対して1%のCO2排出量の削減を目標としている。

1 事業所等の概要

	7 /1~/		,,, ,																				
事	業産	等	の名	称	イム	ス記	2念)	病院															
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	4									
					Ŧ	1	7	4	_	0	0	7	1	区	† .	i 町	村	名	東京都	板橋区	<u> </u>		
事	業所	等の	所在	地	町夕以	名 番	i 地 下	常盤	拾4-	-25-5	5												
事	業所等	等の	延床面	〕 積		3	,827	.51	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 ; · 使	績	年 用		の間	■ 1年	F度分		□ 1	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	所	有] 他	者所	桁											
報	告	i	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			〕建物	Jの一章	邹(~	その1	也)
共口	生 盔 国	コのう	こたる月	コンク		事務	歽					商業	纟施言	設(/	物	販)			〕商業	施設	(飲:	食)	
羊又	古軋齿	コリノユ	こにつけ	力述		工場	<u>=</u>					複合	施	設					■ その	他			
に	おける	5 細 2	章業分分類番	号号	8	3	1	1		鎖化	/事業	美区	分]	直営	店		□加	盟店		■ 3	非該当
再の	生可育	能工 用	ネルキ 状	· 況				エネ ずの設	ルギ :置	_		低炭	素電	重力(D ^z	受入				書によ 利用	る環	境価	値
前か		の 執 の 多	设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 274	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 533	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 11	t
	総計(④=②+③)	^④ 544	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 139.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,059.0	45.00	632.7	0.014	31.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	724,138.0	9.97	7,219.7	0.489	354.1
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	301,715.0	9.28	2,799.9	0.489	147.5
^~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則]第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 10,652.2		⁽¹⁵⁾ 533.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	16,087.0			0.251	4.0
他	公共下水道	_		m^3	16,087.0	$\overline{}$		0.439	7.1
	_	合 計							11.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
↓ □ ↓	並 44 割 の 軟 14			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水 丑	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
12.7	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C417	不使用室の空調停止	C402	利用状況に応じた空調の設定変更
		C421	過度な換気風量の適正化	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
	運用対策			C409	季節に応じた温度設定の見直し
省					
エ					
ネル					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
朿	政佣体引列来			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	以用等八刈水			E125	高輝度誘導灯の導入
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

基本対策を徹底しデータの分析後、機器等の更新を行う。節電対策として、医療行為に影響のない範囲で消灯を行い、 LED化を実施。白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。昨年と同様に直管型蛍光灯についてもLED化を実施。 CO2排出について前年に対して1%の削減を目標としている。

1	事業所	笙の	押
1	尹未川	マディンフ	似女

事	業所	等	の名	称	イム	スが	[極]	J/\t	ごリ羽	ክ院												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	5								
	VII	444	/.		Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都板橋区	ζ		
事	業	等 0.	所在	地	町彡以	名 番	· 地 下	小豆	[沢3-	-11-1												
事	業所等	争の	延床面	ī積		6	,332	.52	m^2	事	業							の間	■ 1年度分		□ 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	引所不	自] 他	1.者页	斤有										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [£]	郭(ラ	ーナ、	ント	、)] 建物の一	部(>	その化	<u>h</u>)
土口	光然压	I D -	ーキフロ	J 公		事務	所					商業	き施!	没(4	物原	反)			〕商業施設	(飲:	食)	
羊区	古軋世	リリノゴ	こたる月	力述		工場]					複合	}施	設					その他			
日に	本 標 おける	準 產	至業分分類番	· 類 F 号	8	3	1	1	連	鎖化	/事業	業区:	分		Ц	直営	店		□ 加盟店		■身	丰該当
再の	生可能 利	とエ 用	ネルキ 状	ž 況			可能 說設備		ルギ :置	_		低炭	素電	 直力の	の受	を入			□ 証書によ の利用	る環	境価値	値
前 か	年度らの		设 告 内 安 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 300	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	^② 584	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総計(④=②+③)	^④ 598	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 92.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 4 > 1 4 W	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	36,419.7	45.00	1,638.9	0.014	81.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
753	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	714,407.0	9.97	7,122.6	0.489	349.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	312,784.0	9.28	2,902.6	0.489	153.0
^\	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 11,664.2		584.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	21,216.0			0.251	5.3
他	公共下水道			m^3	21,216.0			0.439	9.3
	合 計								14.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □ 4	並 44 割 の 軟 14			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和上有	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
(C)	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C417	不使用室の空調停止	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C421	過度な換気風量の適正化	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エ					
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
水	以 佣 床 寸 刈 來			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
	以用等八刈水			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg\text{-}CO_2/m}^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

節電対策として、医療行為に影響のない範囲で消灯の他、LED化に着手。外気導入を極力抑えた空調を実施中。ガラス面が多い為、カーテンを有効に使用している。CO2の削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。*運用対策C421厨房の過度な換気量の適正化は、継続中

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	板棉	喬ロイ	イヤル	ルケ	アセ	ンタ	<u>'</u> —											
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	6								
					Ŧ	1	7	4	_	0	0	6	3	区	市	町	村	名	東京都板橋	区		
事	業所	等 ∅	所 在	地	町。	名番	地 下	前野	5町3-	-46-3	}											
事	業所等	争の	延床面	ī積		4	,888	.00	m^2		業 ア ネ ル							の間	■ 1年度分	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所不	Í		〕他	1者別	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—₽	邪(ラ	-ナ:	ント	·)			〕建物の−	-部	(その	他)
共口	生 盔 匣	I A F	ーたフロ	コンク		事務	所					商業	(施	没(4	刎	反)] 商業施設	设(飲	(食)	
羊区	古軋世	リリノゴ	こたる月	1 述		工場]					複合	施	没					●その他			
日に	本 標 おける	準 產	(業分 分類番	· 類 F 号	8	5	4	2	連	鎖化	/事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟店	i		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		低炭	素電	直力の	の受	を入			□ 証書に の利用	よるタ	環境信	西値
前か	年度らの		设 告 内 安 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	270	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	524	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	12	t
	総計(④=②+③)	4	536	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 10	7.2	kg-CO ₂ /m ²

	,		推計		4.	牙业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	108,350.4	45.00	4,875.8	0.014	243.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	401,604.0	9.97	4,004.0	0.489	196.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	173,743.0	9.28	1,612.3	0.489	85.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計						⁽⁴⁾ 10,492.1		⁽¹⁵⁾ 524.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	18,009.0			0.251	4.5
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	18,009.0			0.439	7.9
	_						12.4		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1 事業所等の概要

事	業所	- 等	の名	称	板棉	喬セ	ントラ	ラル	クリニ	ニック	7												
			-						-														
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	7									
	\!!¢	1.1.			Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都	る 板橋 区	<u> </u>		
事	業別	等 0	所 在	地	町夕以	名 番	F 地 下	小豆	汉2-	-16-1	15												
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		1	,031	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の :	実 ; 使	績	年 用:	度期	の間	■ 14	年度分			1年未満
所	有		形	態		自己	所	有] 他	1者月	斤有						_					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ン	١)			〕建物	カの一	部(その	他)
土口	<i>上 松</i> 国	1 m ->	・キフロ	J \△		事務	所					商業	纟施言	没(/	物	坂)] 商業	\$施設	(飲	食)	
			こたる用		Ш	工場	<u>크</u> 7					複合	旅	辽					■ その	他			
に	おける	5 細 2	毛業分 分類番	号	8	3	2	2	連	鎖化	(事業	美区	分		Ī	直営	店		口加	盟店			非該当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設		_		低炭	素電	(記力の	D E	受入				:書によ :利用	る弱	環境信	 面值
前 か		の 朝 り <i>ਭ</i>	设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	4 68	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 65.9	$kg-CO_2/m^2$

	,	田玉 (1・> 1 11)	推計			15. 半1.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	*** その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	106,157.0	9.97	1,058.4	0.489	51.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	33,367.0	9.28	309.6	0.489	16.3
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	真の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	승 計						1,368.0		68.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	637.0			0.251	0.2
他	· 1, 11, 1 , 1×			m^3	637.0	/		0.439	0.3
	-	合 計	·	·					0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√п 	かみをある乾は			A203	具体的な取組目標と内容の設定
术 <u>上</u> 术	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
т. 2	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
エ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
來	以 佣 水 竹 刈 氷				
				E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

照明器具のLEDかについては、蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。夏季の空調設定温度27度を実施し不定期にパトロールにてチェックを行っている。CO2の排出量削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。*運用対策C123の温湿度の適正管理継続中。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	板棉	喬中	央看	護	專門	学校	ζ												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	8									
					Ŧ	1	7	4	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都板	橋区			
事	業所	等 0	所 在	地	町夕以	名番	地下	小豆	汉2-	-6-4													
事	業所等	争の.	延床面	ī積		3	,018	.55	m^2		業							の間	■ 1年	度分] 1年	F未満
所	有		形	態		自己	引所不	Í		〕他	1者原	斤有											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	邪(ラ	ーナ	ント	、)] 建物の	つ一部	『(そ	の他	[)
共口	生 盔 匣	I D F	ーたフロ	1 冷		事務	鲚					商業	纟施言	没(4	物具	坂)] 商業旗	包設(1	飲食	:)	
羊区	古軋世	リクノゴ	こたる月	1 述		工場	<u>司</u>					複合	施	没					■その他	<u>h</u>			
	おける	治細	至業分分類番	号	8	1	7	1	連	鎖化	/事業	業区?	分		Ī	直営	店		□ 加盟	显店		■非	該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		低炭	素電	宣力の	から	乏入			□証書の利	ドによる J用	5環境	竟価値	直
前か	年度らの		设 告 内 安 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 52	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 102	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 33.4	$kg-CO_2/m^2$

		. ,	推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	(水) (水)	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	99.6	45.00	4.5	0.014	0.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	208,066.0	9.76	2,030.7	0.489	101.7
規則]第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,035.2		102.0
その	そ 水道及び工業用水道			m^3	1,472.0			0.251	0.4
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	1,472.0	/		0.439	0.6
	_	合 計	·	·					1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □ √	職体制の整備			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土 不	戦や前の登加			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
) (大)	TI 1/1 1/L V/ 1/L 1/E			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
		C123	温湿度の適正管理	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
水	以 师 水 寸 刈 水				
		E100	東部の次祖大司姓の伊祖の中代	E101	古林家四田ニンプの松田(日本)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

節電対策として、使用していない部屋等の消灯を実施中。授業の終了後は速やかな帰宅をお願いしている。CO2の排出 量削減目標として、対前年の1%の削減を目指している。

1 事業所等の概要

	7 /10/		,, ,																		
事	業所	デ 等	の名	称	イム	スリ	ハビ	リテ	·—§	/ョン	セン	/ター	−東	京葛	葛飾						
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	0	9							
					₹	1	2	4	_	0	0	0	6	区	市田	丁村	十名	東京都葛飾	<u>X</u>		
事	業所	等の	所在	地	町彡以	名番	* 地 下	堀切]3-26	5-5								_			
事	業所等	等の	延床面	ī 積		4	,259	.00	m^2		業								ì	□ 1	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	1所7	j] 他	1.者页	桁						-			
報	告	i	範	囲		建物	カの全	产部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナン	ント)			□ 建物の一	部(>	その作	也)
土口	北然 国	I	- ナ- フロ	J 公		事務	新					商業	纟施	没(4	勿販)		□ 商業施設	(飲:	食)	
牧	古靶世	1001	こたる月	力述		工場	<u>司</u>					複合	施	設				その他			
に	おける	5細2	章業分分類番	号	8	3	1	1	連	鎖化	と事業	業区 2	分		直	営店	i	□ 加盟店		■ 身	丰該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備			_		低炭	素電	 1力の	の受力	٨		□ 証書に。 □ の利用	よる環	:境価	値
前 か			设 告 内 定 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 210	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 409	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 7	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 416	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	96.0	$kg-CO_2/m^2$

			推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	1	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	9,234.5	45.00	415.6	0.014	20.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()			0.0					
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	544,378.0	9.97	5,427.4	0.489	266.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	250,406.0	9.28	2,323.8	0.489	122.4
	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
						⁽⁴⁾ 8,166.8		409.4	
その	水道及び工業	用水道		m^3	10,240.0			0.251	2.6
他	公共下水道			m^3	10,240.0	/		0.439	4.5
	_	合 計	·	·					7.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
四体仕組の散告			A203	具体的な取組目標と内容の設定
組織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
エネルギー等の 使用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
史用机机切1C1E			B108	エネルギー等情報の対策への活用
	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
	C417	不使用室の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
			C402	利用状況に応じた空調の設定変更
運用対策			C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省			C409	季節に応じた温度設定の見直し
エネル				
ギーーーー	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対 設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
中 以 师 体 勺 刈 水			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
以加等八刈水	_		E133	節水器具の採用
			E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

2017年春に改修を行い、7月より急性期から回復期のリハビリに特化した病院としてオープンし名称も新葛飾病院からイムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院に変更。改修の際、照明を全体の40%でLED化した。現在は、データの蓄積及び空調機器の更新を随時行いCO2の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。

1	事業所等の概念	팯
1	サポハ サッパル	52

	1 /15//																						
事	業所	等	の名	称	イム	ス葛	飾	ハー	小セ	ンタ	_												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	0									
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	0	6	区	市日	町:	村	名東京	京都葛	飾区			
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	i 地 下	堀切]3-3()-1													
事	業所等	争の変	延床面	面積		3	,512	.00	m^2		業							の 間	1年周	度分] 1	年未満
所	有		形	態		自己	所	自] 他	1.者页	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	郭(ラ	・ナン	ント)				建物の	一剖	3(そ	の {	也)
去口	告範囲	$m \rightarrow$	・たスト	日之		事務	骄					商業	纟施言	没(特	勿販	()			商業施	設(1	飲食	£)	
干以	口即四	V	1007	1) (小		工場	<u>1</u>					複合	施	没				= 2	その他	<u>i</u>			
に	本 標 おける	細り	分類種	手号	8	3	1	1	連	鎖化	と事業	美区 2	分		直	営	店		加盟	店		■ ∌	丰該当
再の	生可育	とエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ の設	ルギ :置	_		低炭	素電	 1力の	の受	入			証書の利	による 用	環境	竟価	値
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	299	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	582	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	7	t
	総計(④=②+③)	4	589	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	165.7	$kg-CO_2/m^2$

	,	田玉 (1・>-1 11)	推計			15. 半1.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	<i>O</i>	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	6,746.3	45.00	303.6	0.014	15.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	762,373.0	9.97	7,600.9	0.489	372.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	397,558.0	9.28	3,689.3	0.489	194.4
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 11,593.8		⁽¹⁵⁾ 582.3
その	そ 水道及び工業用水道			m^3	11,077.0			0.251	2.8
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	11,077.0	/		0.439	4.9
	-	合 計	·	·					7.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □	並 44 割 の 軟 14			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和上前	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
12.7	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C417	不使用室の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運用対策			C402	利用状況に応じた空調の設定変更
				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エ					
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
朿	政佣体引列来			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
	以用等八刈水			E136	デマンドコントローラの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

基本対策の徹底から始め、データーの分析後、機器等の対策に移行する。節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。白熱電球・ボール型蛍光灯のLED化に着手。 CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。 ※運用対策C403の中央熱源機器等の季節設定は、継続実施中です。

1 事業所等の概要

_																							
事	業所	等	の名	称	葛飠	第ロ~	イヤ	ルケ	アセ	ンタ	<u></u>												
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	1									
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都葛飾	筛区			
事	業所	等の	所在	地	町夕以	名番	地下	堀切	J2-66	6-17													
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		5	,707	.00	m^2		業 ア ネ ル	「等 レギ		実 <i>?</i> 使	績 [年 刊	度期	の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	者所	桁						•					
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	邪(ラ	ナ	ン	·)			〕建物の	一部	(そ	の他)	
共口	生	I	ーたフロ	1 冷		事務	所					商業	纟施言	没(5	物	坂)] 商業施	設()	次食)	
羊又	古軋世	リリノユ	こたる月	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	没				I	●その他				
に	おける	5 細 2	뚵業分 分類番	号	8	5	4	2		鎖化	/事業	業区 :	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		非該	核当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 况				エネ ずの設		_		低炭	素電	 直力の	から	受入			□ 証書(の利用		環境	価値	
前か			设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 227	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 441	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 10	t
	総計(④=②+③)	^④ 451	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 77.2	$kg-CO_2/m^2$

	, , , ,	田平 (1・2) 11/1	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	(水 女 人	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	43,705.4	45.00	1,966.7	0.014	98.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2000	その他()				0.0				
=	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	490,201.0	9.97	4,887.3	0.489	239.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	211,955.0	9.28	1,966.9	0.489	103.6
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 8,821.0		¹⁵ 441.4
その	その水道及び工業用水道			m^3	15,603.0			0.251	3.9
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	15,603.0			0.439	6.8
	-	合 計		·					10.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
↓ □ ↓	並 44 割 の 軟 14			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水 丑	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
	the second	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
(C)	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C417	不使用室の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エ					
ネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
水	以 佣 床 寸 刈 水			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
	以州诗八八八			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。照明のLED化については、白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。また、直管型蛍光灯のLED化も推進中の他デマンド監視装置を設置した。 CO2削減目標として対前年の1%削減を目指している。 ※設備導入対策E109の冷温水管の保温は、完了しました。

1 事業所等の概要

_																						
事	業所	等	の名	称	おれ	芒茶	屋口	イヤ	フレク	アー	センタ	ター										
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	2								
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	1	1	区	市	町	村	· 名	東京都葛飾	区		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名番	地下	四〇		-19-7												
事	業所等	等の)	延床面	〕 積		5	,713	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の : _	実 ? · 使	績	年 用	度期	の間	■ 1年度分	}		1年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	者反	析有										
報	告	1	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [₽]	部(ラ	テナ	ン	F)] 建物の一	·部(その	他)
华口	生丝田	i n i	こたる用	1 次		事務	所					商業	き施言	没(5	物	販)] 商業施設	(飲	食)	
羊区	口軋团	コマノヨ	こに公开	1 歴		工場	크 7					複合	}施	設				I	■その他			
に	おける	5細2	業分分類番	号	8	5	4	2		鎖化	(事業	業区 :	分		ļ	直営	作	i	□ 加盟店			非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		低炭	素電	重力の	かき	受入			□ 証書に。 の利用	よる弱	環境促	话值
前 か			设 告 内 定 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 242	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 469	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 12	t
	総計(④=②+③)	⁴ 481	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 82.0	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	50,406.2	45.00	2,268.3	0.014	113.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	511,283.0	9.97	5,097.5	0.489	250.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	218,125.0	9.28	2,024.2	0.489	106.7
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					9,390.0		469.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	18,641.0			0.251	4.7
他	公共下水道			m^3	18,641.0	/		0.439	8.2
	-	合 計							12.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
∳□ ∳	サイ カ 東 岸			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の			B105	エネルギー使用量の前年度比較
伊力	用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C417	不使用室の空調停止	C109	空室・不在時等の空調停止
				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
	運用対策			C403	中央熱源機器等の季節設定実施
省				C409	季節に応じた温度設定の見直し
エ					
ネルビ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯伊加宁县签			D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		2100	1.4554 1.500 54 BB S. F. S. S. M. M. (777) 43	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。LED照明への移行も継続中、デマンドコントローラーの活用で節電。 CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。 ※C105の昼休みの消灯、C123の温湿度の適正管理は、継続しております。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	新葛	喜飾	ロイ	ヤル	クリ	ニッ	ク												
事	業	所	番	号	Α	0	7	1	5	_	0	0	1	3									
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都暮	葛飾区			
事	業所	等の	所在	地	町夕以	名 番	地下	堀切	J2-66	6-17													
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		1	,978	.00	m^2		業 ア ネ ル	「等 レギ		実 ; · 使	績	年 用	度期	の間	■ 1年	度分		1	年未満
所	有	2	形	態		自己	1所1	有] 他	1者別	桁						_					
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	ト)] 建物	の一节	部(そ	その作	也)
報	告範囲	の主	こたる用	建		事務工場						商業複合			物	販)			〕 商業』 ■ その(施設(伽	(飲1)	
目 に	本 標 おける	準 産 っ細 2	毛業分 分類番	· 類 : 号	8	3	2	2	連	鎖側					l į	直定	店			盟店		■ ∌	非該当
再の	生可能	指工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ ずの設		_		低炭	素電	重力の	D E	受入				書によ. 利用	る環	境価	値
前 か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 125	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	242	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 6	t
	総計(④=②+③)	^④ 248	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 122.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,763.2	45.00	169.3	0.014	8.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
77/1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	355,258.0	9.97	3,541.9	0.489	173.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	123,902.0	9.28	1,149.8	0.489	60.6
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規貝]第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 4,861.1		¹⁵ 242.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,698.0			0.251	2.2
他	公共下水道			m^3	8,698.0			0.439	3.8
		合 計	•						6.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □ ⟨	並み割の動法			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和丑 7	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
<u></u>	ウェゼー 然の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
	ネルギー等の 用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を未務於」時に停止		
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策			C117	便座ピーター等温度の季節別設定
省				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
工				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
	以畑守八刈水			E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有	無無		_			_		
	ベンチマー	ク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当た))	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他		特記事項に	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

節電対策として、医療行為に影響の無い範囲で消灯を重点に対応中。照明のLED化については、白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。 直管蛍光灯についてもLEDへの更新の計画中。CO2排出量の削減目標として、対前年の1%削減を目指している。※運用対策 C117の昼休み消灯は継続実施中です。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	クロ	!ー/	∛ —(のさ	と													
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	4								
	VII.4	<i>t</i> - <i>t</i> -	/.		Ŧ	1	7	3	_	0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都板橋	区		
事	業所	等 0) 所 在	地	町夕以	名 番	· 地 下	仲町	¹ 1−4													
事	業所等	等の3	延床面	ī積		6	,017	.18	m^2		業 ア ネ ル		の 					の間	■ 1年度分	子		1年未満
所	有	2	形	態		自己	引所不	Í		〕他	1者別	斤有										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)— [‡]	邪(ラ	ナ	ント	.)			■ 建物の-	-部	(その)他)
土口	比 然區	1 m -	・キッロ	J 公		事務	所					商業	(施	没(4	勿貝	反)] 商業施設	분(飮	食)	
쒺	告範囲	100±	こだる州	力述		工場	<u>ヨ</u>					複合	施	没					その他			
日に	本 標 おける	準 産 う細 ク	章業分分類番	· 類 F 号	8	5	4	2	連	鎖化	/事業	業区?	分		直	Í営	店		□ 加盟店	i		非該当
再の	生可能	ドエ. 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		低炭	素電	直力の	の受	入			□ 証書に の利用	よる	環境ſ	西値
前 か	年度らる			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 249	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 488	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 7	t
	総計(④=②+③)	^④ 495	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 81.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	, , , ,	田玉八小川	推計			开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	54,993.0	45.00	2,474.7	0.014	123.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	393,233.0	9.97	3,920.5	0.489	192.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	352,854.0	9.28	3,274.5	0.489	172.5
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	승 計						9,669.7		⁽¹⁵⁾ 488.2
その				m^3	9,551.0			0.251	2.4
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	11,576.0			0.439	5.1
	-	合 計	·	·					¹⁶ 7.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □ <i>€</i>	**			A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土 不	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
7 7	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C417	不使用室の空調停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策			C109	空室・不在時等の空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
ュエ				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
ネル				C409	季節に応じた温度設定の見直し
ギ		5.101	- 044 - 1.11911 2 241 - 1.14	D.1.00	N. N. N. J.
1.		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
)K	ESC MIN FILE OF A STATE			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
	以 m サハハ 水				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				_			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載						

6 特記事項

2014年10月から開設。建物用途は老人保健施設で延床面積20,121.7㎡(29.9%)のうち6,017.18㎡を医療法人明芳会、14,104.52㎡(70.1%)を社会福祉法人明東会が運営をしている。節電対策として、医療行為に影響のない範囲にて、消灯を実施。CO2の排出削減目標として対前年の1%削減を目指している。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	東戸	京葛	飾絲	給合約	病院														
事	業	所	番	号	А	0	7	1	5	_	0	0	1	5									
	NK	<i>b-b-</i>			Ŧ	1	2	4	_	0	0	2	5	区	市	町	村	名	東京都葛	萬飾区			
争	業所	等 0.)所仕	地	町。以	名 番	地下	西新	小岩	¦4−18	3-1												
事	業所等	等の)	延床面	ī積		15	,354	.00	m^2	事	業 ア ネ ル							の間	■ 1年	度分		1:	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		〕他	1者別	桁						_					
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ン	١)			〕建物の	の一音	阝(そ	一 の作	<u>h</u>)
共口	告範囲	I A) I	ーチフロ	1 '&		事務	所					商業	纟施	没(!	物	坂)			〕商業加	施設(飲食	()	
羊区	口軋世	リマノゴ	こにの月	1 还		工場	크 7					複合	施	設					■その化	乜			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	3	1	1		鎖化	/事業	業区 :	分] [直営	店		□ 加盟	显店		■ ∌	丰該当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネルキ 状	ェ 沢				エネ すの設		_		低炭	素電	重力(のき	受入			□証書の利	書による 引用	5環	境価	値
前 か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 947	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,838	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 21	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 1,859	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 119.7	$kg-CO_2/m^2$

	, , ,	田平 (1・2) 11/1	推計		4.	牙业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	75,493.8	45.00	3,397.2	0.014	169.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	2,370,096.0	9.97	23,629.9	0.489	1,159.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,043,735.0	9.28	9,685.9	0.489	510.4
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計						⁽⁴⁾ 36,712.9		1,838.8
その	水道及び工業用水道			m^3	30,604.0			0.251	7.7
他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			m^3	30,604.0	$\overline{}$		0.439	13.4
	-	合 計		`					¹⁶ 21.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
√ □ √	サ 出 の 軟 法			A203	具体的な取組目標と内容の設定
和允	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の	Bioo	2211777710107717171	B105	エネルギー使用量の前年度比較
使力	用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C417	不使用室の空調停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策			C109	空室・不在時等の空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C402	利用状況に応じた空調の設定変更
エ				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
ネル				C409	季節に応じた温度設定の見直し
ギ					
]		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
X	EX MIL PIC 1 7/1 7/1			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E112	空調用高効率冷凍機の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)		t
20	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

2017年5月より運用開始した新築物件、現在は空調用リモコンに「不在時のスイッチOFF」照明のスイッチに「不在時消灯」等の省エネ意識高揚の為のシールを貼っている。CO2の排出削減目標として、対前年の1%削減を目標としている。